

教育指導担当

令和7年度以降の港区GIGAスクール構想について

報告内容

港区では令和7年度以降、学校のICT環境をさらに強化するため、端末整備、ネットワーク整備、校務DX、1人1台の利活用の方針を策定し、次期GIGAスクール構想を一層推進します。

1 経緯

港区では、令和2年10月に全ての児童・生徒及び教員に対し、約17,000台のiPadを整備し、早期に1人1台端末環境を実現した後、学校に配備した端末に関する対応を迅速に行うためのGIGAスクールサポーターの配置や専門的な知見から事務局に助言する教育情報参事官の任用を行い、学校のICT環境の整備を進めています。

2 令和7年度以降の港区GIGAスクール構想について

教育委員会では学校のICT環境をさらに強化し、次期GIGAスクール構想を進めていくにあたり、令和6年12月13日（金）に港区学校情報化推進会議を開催し、以下のとおり、端末整備、ネットワーク整備、校務DX、1人1台の利活用の方針について決めました。

- (1) 端末整備については、児童生徒端末数と教員端末数の端末の配備を行います。予備機については国の基準に基づいて整備していきます。
- (2) ネットワークについては、令和4年度に10Gbpsネットワークを敷設したことで、国の推奨帯域を満たしています。さらに、令和7年10月から、LTE端末を導入することで、校庭など校外での使用を可能にし、よりシームレスに活用できる環境整備を行っていきます。
- (3) 校務DXについては、令和7年度に教員端末用のアクセスポイントを整備し、教員端末の持ち運びの実現をすることで、積極的に校務DXを推進していく他、生成AIの利用方針を定め、校務での生成AIの活用を推奨します。
- (4) 1人1台の端末の利活用については、各校の規模に合わせてICT支援員の配置を拡充し、授業でのICT機器の活用をさらに促します。また、令和7年度に中学校理科のデジタル教科書を導入するとともに、シングルサインオン設定を行い、利便性を向上させることで、活用を加速させます。

3 今後のスケジュール（予定）

令和7年1月	区民文教常任委員会報告
4月	中学校理科のデジタル教科書の導入
8月	教員端末配備、設定作業の実施
10月	次期端末の配備